

## 順天堂大学医学部 英語

2026年 2月 3日実施

### [ I ]

問 1 (1) 2 (2) 3 (3) 1 (4) 3 (5) 1

問 2 (1) 2 (2) 4 (3) 1 (4) 3 (5) 2

### [解説]

#### 問 1

- (1) **preamble** は「序文」という意味。本問のインタビューの場面では、「紹介」くらいの意味が近い。
- (2) **replete with** ～で「～でたくさんの」であり、ここでは物語というものは「象徴的な意味」であふれているという意味。
- (3) **accountability** で「責任」という意味。ここでは、**guilt**「罪」と「責任」が並列されている。
- (4) **transgression** で「道を外れること」という意味。ここではマリナーがアホウドリを殺害してしまった行為についてである。**violation** と意味が最も近い。
- (5) **redemption** で「救済」という意味。ここでは、マリナーが自らの犯した罪を「許される」という文脈であるから、**forgiveness** の意味が近い。

#### 問 2

- (1) Niide 氏の 2 回目の発言で、**literature=layered** と述べられており、文学は表層の下に、「象徴的な意味」を含め様々な層があると述べられている。
- (2) Niide 氏の 3 回目の発言の後半で、**punishment** だけでなく **internal suffering**「内なる苦悩」の物語でもあると述べられており、こうした局面が一般には見落とされているということが示唆されている。
- (3) Niide 氏の 4 回目の発言で、**Actions have even deeper consequences ...** と述べられており、「やってしまったことは永続的な影響がある」ということが示唆されている。
- (4) Host の 5 回目の発言で、最もつらかったのは、祖母を失望させたことだと述べられており、心情的な帰結の方が社会的な罰よりも深い意味があったと回想されている。
- (5) Niide 氏の最後の発言で、文学の隠された意味を探ることで、自分自身や周囲の人々についてより深く認識できるようになるという趣旨のことが述べられている。

### [ II ]

問 1 (1) 3 (2) 2 (3) 4 (4) 1 (5) 4

問 2 (1) 2 (2) 3 (3) 1 (4) 2 (5) 3

### [解説]

#### 問 1

- (1) **pursue** は「～を追求する」の意で、与えられた語の中では **chase** に最も近い。
- (2) **back up** は「～を支える」の意で、与えられた語の中では **support** に最も近い。
- (3) **enable** は「～を可能にする」の意で、与えられた語の中では **allow** に最も近い。

- (4) inevitable は「避けられない、必然的な」の意で、与えられた語の中では inescapable に最も近い。
- (5) idleness は「怠惰、何もしないでいること」の意で、与えられた語の中では inactivity に最も近い。

この大問は、類義語選択問題の難易度が低く本文を読むまでもなく解けてしまうものばかりであるため、時間を掛けず、かつ 1 問たりとも落とさないことが望ましい。

問 2

- (1) 第 2 段落第 5 文に、「退屈さに対する科学的関心の上昇」が「皮肉」であると書かれている。要は、退屈というテーマそのものがかえって（退屈ではなく）面白いものになってしまったことを「皮肉」だと述べているのである。
- (2) 第 5 段落第 2～5 文より、人類が退屈さを感じることができると、それが新たな目標や環境を追求する原動力となってきたことが述べられている。
- (3) 第 8 段落第 2 文に、退屈を感じがちな人は憂鬱や不安を感じやすいことが述べられている。
- (4) 第 11 段落第 2 文以降に、刺激を繰り返し求めることで、さらなる刺激がないと退屈してしまう状態に陥ることが述べられている。
- (5) 2 と 4 は即座に除外できる。1 と 3 でやや迷うところだが、1 は「日常生活を向上させるためにどのように退屈を活用するか」まで踏み入った記述がなされているわけではないため不適。3 は、第 8・9 段落で「望ましくない退屈のしかた」についても言及されている点に合致する。

〔Ⅲ〕

- |     |       |       |       |       |       |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 問 1 | (1) 2 | (2) 1 | (3) 4 | (4) 4 | (5) 2 |
| 問 2 | (1) 3 | (2) 4 | (3) 2 | (4) 3 | (5) 1 |

〔解説〕

問 1

- (1) disturb 人で「人を不安にする」という意味から、disturbing で「心をかき乱す」。alarm 人で「人を不安にさせる」という意味より「不安にさせる」の alarming と一致する。
- (2) advisory は「報告」という意味。「通知」という意味の notice と一致する。
- (3) in conjunction with [名詞] で「[名詞] と連結して」や「[名詞] と共に」。in combination with [名詞] は combination から推測できるように「[名詞] と一緒に」という意味もあるので、同じだと言える。
- (4) ground には「根拠」や「論拠」という意味もある。文意より「地面」などの空間を表す意味ではなさそうなので、解答は favorable environment となる。fertile ground の代わりに何を入れても語句が変わらないかを考えると良い。
- (5) assess [名詞] で「[名詞] を評価する」という意味で、to be sure 以降の内容と最も合

う。

問 2

- (1) 第 3 段落の内容を鑑みると解答が定まる。第 3 段落第 1 文と第 2 文を解答根拠とする。  
「単なる相関関係」という風に否定的に述べている。
- (2) 第 4 段落第 2 文に合致している。過去 10 年と比べて精神状況が良くないと答えた者の割合が 40%も増えている。
- (3) 第 6 段落最終文が解答根拠。reduction in [名詞] で「[名詞] の減少」。
- (4) 第 9 段落第 4 文が解答根拠。「若い頃にボランティアをさせられたものは年を取ってからそのようなことをしない傾向にある」とある。因みに選択肢 1 は do not need to が言い過ぎ。第 9 段落最終文の内容に反する。
- (5) 第 1 段落から第 8 段落の内容を含めているのが選択肢 1。選択肢 4 は確かに第 9 段落で述べられてはいるものの、第 9 段落最終 2 文で「意味のあると感じられるものを選ばないといけない」や「親が選択肢を提示することで助けてあげられる」と対処法まで言及しているため、dangers of volunteering がタイトル（主題）だとは言えない。

[IV]

- |     |       |       |       |       |       |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 問 1 | (1) 3 | (2) 1 | (3) 1 | (4) 4 | (5) 3 |
| 問 2 | (1) 1 | (2) 2 | (3) 3 | (4) 3 | (5) 4 |

[解説]

問 1

- (1) compelling で「説得力のある、注意を惹く」という意味であり、convincing が最も近い。
- (2) contend with で「～と競合する」という意味であり、compete with が最も近い。
- (3) nocturnal で「夜行性の」という意味であり、active at night ということである。
- (4) maladaptive で「適応していない」という意味であり、unsuitable が最も近い。mal- も un- も否定の接頭辞であることに気づけば選べる。
- (5) congregate で「集まる」という意味であり、gather が最も近い。夜間に照明に虫が集まっているところを思い浮かべればよいだろう。

問 2

- (1) 第 4 段落で、人工光の出現により、蛾の上下感覚が狂ったということが述べられている。
- (2) 第 5 段落第 1 文に、高解像度・高速度の赤外線カメラによって昆虫の飛行経路を記録したことが述べられている。special wavelengths of light 「特別な光の波長」というのは、赤外線のことを言い換えた表現である。
- (3) いずれも事実としては正しいが、“ultimate problem” 「究極の／最終的な問題」は 3 の「昆虫の個体数が減ること」である（他はその遠因に過ぎない）。

- (4) まず、第9段落最終文で“especially not upwards into the atmosphere”という注意書きがあることから、下からの（上向きの）光が望ましくないということが分かる。また、第11段落第2文に、“minimizing use of short wavelengths, such as blue ...”とあることから、「ブルーライトの使用を最小限にしなければならない」ということはこれが有害なものであるということが分かる。上記をまとめると、最も望ましくないのは「下からのブルーライト」であると判断できる。
- (5) 本文全体の論旨より明らか。

[V]

(解答例1)

Since the beginning of history, art and literature have changed many people's lives. Some stories give us courage, while others give us new ideas. For me, a biographical novel titled “Shinshu ni Joi Ari” by Keishi Nagi changed my life and my future goal. This book tells the story of Dr. Toshikazu Wakatsuki, a man who worked very hard for medicine in the mountains of Japan.

Before I read this book, I did not know about the history of healthcare in rural areas. After World War II, many farmers in the Nagano area were very poor and suffered from many diseases. Dr. Wakatsuki went to this difficult place to help them. He did not have enough medical tools or money. However, he did not lose hope. He used these difficulties as his "energy" to make a better hospital. He believed that doctors should not wait for patients in a room; they should go out into the fields to meet the people.

His way of life moved my heart deeply. In the past, when I faced a difficult problem at school, I often felt like giving up. But Dr. Wakatsuki showed me that obstacles can make us stronger. Now, when I have a hard time, I try to stay positive and use the challenge as an opportunity to grow. I also learned the importance of empathy. I started to think more about other people's feelings in my daily life.

Finally, this book gave me a clear dream. Now, I want to be a doctor like him. I want to help people in local towns where there are not enough doctors. Like Dr. Wakatsuki, I want to be a person who supports others and never runs away from challenges. This book taught me that one person's courage can change a whole society.

(解答例2)

One piece of art that greatly changed the way I interact with the world is the animated film *Spirited Away* by Hayao Miyazaki. I first watched this film when I was in elementary school, but I understood its deeper meaning when I watched it again in high school.

At the beginning of the story, Chihiro is scared and dependent on others. However, through many difficult experiences, she learns to be brave and responsible. Watching her growth made me reflect on my own life. I realized that I often avoided challenges because I was afraid of failure. After seeing this film, I started to believe that facing difficulties is an important part of growing up.

The film also taught me the value of kindness and respect. Chihiro treats everyone she meets with sincerity, even when they are strange or frightening. This encouraged me to be more considerate toward people around me, including classmates and teachers.

*Spirited Away* helped me understand that small actions can change both ourselves and others, and it continues to influence how I live my daily life.

[解説]

一作の芸術作品や音楽、文学、映画が、いかに世界や周囲の人々とのあなたの関わり方に変化をもたらしたか、具体的な例を用いつつ論ぜよというもの。

【総評】

長文 4 題＋自由英作文 1 題という例年通りの大問構成。昨年度と同様、各大問の前半 5 問は類義語選択、後半 5 問は内容一致問題というスタイルで統一された。本文も総じて読みやすく、選択肢で迷わせるようなものも少ないため、文章の主題を粗くでも読み取れていれば、概ね迷わずに解答へ至ることができたであろう。難易度は平年並みと言える。英語を得点源とする生徒であれば、全体で 75～80%程度は確保したいところ。

## 昭和医科大学医学部Ⅱ期模試 2026.2.23<sup>(月)</sup>

科目 英／数／化／生／物 申込締切 2月19日（木）15:00  
会場 東京／大阪／福岡

## 聖マリアンナ医科大学[後期]模試 2026.2.18<sup>(水)</sup>

科目 英／数／化／生／物 申込締切 2月14日（土）15:00  
会場 東京／大阪／福岡

料金 8,800円（税込）



※内容は変更になる場合がございます。最新の情報はホームページよりご確認ください。↑

## 医大別直前講習会 2025-2026

後期・Ⅱ期

- 獨協医科大学
- 聖マリアンナ医科大学
- 日本大学
- 埼玉医科大学
- 昭和医科大学
- 日本医科大学



◆各講座の時間割・受講料・会場についてはHPでご確認ください。↑

本解答速報の内容に関するお問合せは



医学部専門予備校  
**YMS**  
heart of medicine

☎ 03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>  
東京都渋谷区代々木 1-37-14

医学部進学予備校

**メビオ**

☎ 0120-146-156  
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校

**英進館メビオ**

福岡校 ☎ 0120-192-215  
<https://www.mebio-elshinkan.com/>

メルマガ登録



LINE 登録



26 年度解答速報はメルマガ登録または LINE 友だち追加で全科目を閲覧